

令和6年度第5回宇城市総合計画審議会

日時	令和7年3月18日（火）15:00～
場所	宇城市役所本館3階第1会議室
出席委員	井田委員、植田委員、今泉委員、百家委員、濱崎委員
欠席委員	本間委員、柴田委員、高橋委員、池田委員
事務局	小野田企画課長、企画課企画統計係職員

【議事要旨】

(1) 次期宇城市総合計画案に対するパブリックコメント結果について

委員	意見を出されたのが一人ということで、関心が薄いのか、身近なこととして考えられていないということか。なんだか寂しい感じがする。
井田会長	<p>昨日、菊陽町の都市計画マスタープランの会議に出てきたが、パブリックコメント、町民説明会をされていて20くらいの意見があった。</p> <p>市の最上位計画に興味を持っていないのか、あるいは市民に伝わっていないのか。今回出てきた最後の意見を見ても、総合計画の位置付けが浸透していないという部分。総合計画はあくまでも方向性を示すものであって、その下の総合戦略であったり、都市計画マスタープランであったりでちょっと具体的になって、より具体的なものは個別計画で示していくという風になる。</p> <p>アンケート結果や現状分析等は別途資料としては掲載されるかと思うが、総合計画についてはあくまでも方向性を示すもの。その辺がまだ市民の方に伝わっていないということなので、色々な機会を活かしながら、市の最上位計画は、市はこう考えています、総合戦略はこうです、都市マスはこうです、というような形で、それくらい大きな計画については市民の方に興味を持ってもらえるように、色々な団体等の会合の場でも伝えてもらえれば。</p>
井田会長	<p>人口推計はなかなか難しい。菊陽でも社人研より抑え気味に人口推計している。それは、まだどうなるかわからない。新駅ができて、アーバンエリアなどができたりするとどうなるかわからないので、作ったけれどもまたすぐ改訂するかもしれないと言っていた。</p> <p>宇城においても、総合計画はこれである程度方向性は決まっているが、これまでに言ってきたように、交通結節点をこれだけ持っているのに活かしていない。他自治体の話ばかりで申し訳ないが、菊陽はJR駅があり、新駅もできるので、駅を中心にしろと言った。そこを中核として都市マスにも謳ってある。ただ、市街化区域と調整区域が混在していて、その辺が似ている。人口が増えようと思っても、土地の供給がなければ増えない。集落内開発で10戸20戸分開発しても、そこでは基本的には家しか建てられない。まちづくりからすれば、そういうことを先にやってしまうと整理しようとしてもできなくなってしまう。</p> <p>市民からも8年後を見据えてという意見があるが、それは個々の話ではなくて、まちの形成も含めてどういったまちづくりをするのかというのを踏まえながらいかないと。高速もあるし、立地的には熊本都市圏と非常に近い。そのメリットを最大限活かすような個別施策を下の方で考えないといけない。地方創生関連予算も多く付いているので、そういったものもできるだけ活かして、まちづくりがちょっとずつでも進んでいけば市民の方も変わっていているなど感じてもらえるのでは。そういったときに、これは総合計画のこれにぶら下がっている事業だという話をしていけば、市民の方も総合計画とは何なのかということになるかと思う。</p> <p>学生をみても、総合計画に関心を持つのは公務員を目指す人だけで、それ以外の学生はほぼ知らずに社会人になって、知らないまま。企業でも総合計画には関心がないので。結局行政がいくら順序だてて計画をつくっても広がらない。どこでも言っているが、小学校の授業に取り入れてほしい。小学校の授業で行政の話が全く出てこない。政治と歴史だけで、行政や経済の話がほとんど出てこない。小学校の時からこういう形でまちづくりなどが進められているんだということが、耳に入ったり目に入ったりすると、それが醸成されていくかと思う。できれば、そういう授業をしてもらって、市の職員が行って喋るなどして、行政というものを身近なものに感じてもらわないと。</p> <p>パブリックコメントというのは、市民の方に意見をたくさん出してもらいたいからするのであって、理由付けだけの実施ではいけない。そういう形で、小学生に行政というもののはんなのかということを考えてもらう場を設けていただきたい。</p>
委員	今までで一番少ないのか。
事務局	これまでも1件や0件だったものもある。策定の過程なども公開できていなかったため、今後はもっとお知らせもしていきながらまずは知ってもらうことが大事だと考えている。
委員	私も委員になるまで、総合計画のことを見たり聞いたりしたこともなかったので、この会議に出るようになって初めて色々なことを考えられているんだと思った。市民の皆さんが知る機会がほとんどないんだろうなということを感じていた。
井田会長	<p>総合計画、総合戦略、都市マスに何かしら紐づけられていないと補助事業も蹴られる。かと言って自前で色々な事業をしようとしてもできない。総合計画など計画がないと、行政運営ができませんよということも色々な機会でも知らせていく必要があると思う。</p> <p>宇城市は恵まれている。灯台下暗しで、住んでいる方は当たり前なのでメリットに気付かないが、他所からすると恵まれているメリットがいっぱいあると思うので、そういったところを活かしていかないと。</p>

委員	いいところが沢山あるが、話の元が市の方から聞こえてこない。これだけは話してほしいというようなことがあれば、色々な会議で何かの形で渡してあげれば良いと思う。 すごくいい政策があっているが、宇城市はPRが下手。いいところは威張って言っていると思う。 三角なんかは高規格道路が通るので、集落の人が移動しないといけなくなったりして大変な部分もあるが、その一方で、こんないいことがありますとか、三角駅前にお客さんが沢山来るのでこっちに移動して住みませんかとか、そういうことを市から市民の皆さんに話をされたいかがか。
委員	普通に生活していたら、届きにくさはすごくある。
井田会長	今回の総合計画には表立って出していないが、合併時の時に旧町の線引きではなくゾーニングして、このエリアは何々ゾーンみたいな形をつくってある。全部が居住地にはなりえない、全部をしてしまうと行政の費用がいくらでもかかる。居住に軸をおいたゾーンや工業、農業、観光などある程度ゾーニングすることによって、旧5町すべてでできないことは分かっているのだから、そういうことをことある度に行政サイドからちょっとずつ市民の意識変革を図ってほしい。

(2) 宇城市総合計画の策定

委員	1つ目の最後のところで、「評価する」という表現になっているがこれで良いのか。計画は審議会で作ったということではないのか。 会の立ち位置としてどうなのか。
事務局	審議会は、市長からの諮問に応じ、総合計画の策定及び進捗管理に関する事項について審議するとなっている。
井田会長	策定は審議会であるので、「…網羅した計画である。」という表現になるかと思う。
委員	2つ目の「市一体」とは市がということだけか。市民とかも一体にということではなくて、市がこういうことをやりますという意味での「市一体」という表現か。
井田会長	この表現だとおそらく市民の方が見たときは市役所がと思うだろう。色々な課に分かれているけれども、全体でちゃんと同じ方向でしましようという表現になっている。 委員が言われたように、行政だけではなくて、市民とともにという書きぶりにするのかのどちらかだと思うが、その前が施策展開となっているので、これだと行政になってしまう。
事務局	修正案を作成し、後日皆様にお送りさせていただくので、再度確認いただきたい。
委員	3つ目について、計画の推進に当たってはというところで「本審議会で出た意見についても留意して」とあるが、審議会の意見は計画策定のために出た意見であって、これから留意してというのは違うのでは。
井田会長	委員が言われたように、委員が色々意見を言って今回の総合計画ができたわけなので、それに対してまた留意して検討しろと書いているので回りくどく感じるのかもしれない。
委員	「計画の推進に当たっては」という主語を残すのならば、2つ目の「時代の状況に応じた」の方に繋がれた文言にするか。
井田会長	来年度から審議会の構成が変わるので、「本審議会」というのを残すのは好ましくないのではないかと。ここは、要は進捗管理をきちんとしていってくださいという中身になると思う。 さっきの2つ目は、「市一体となって」を削除して「施策展開を行うこと」として、3つ目は、「市民とともに」というような言葉が入ってもおかしくはないと思うので、そのような文言で。 「本審議会」の「本」をとって「審議会」とする。
委員	「審議会」とするならば、今後の審議会の意見ということで意味は通じると思う。